

2023 年第 1 回 Japan Council 理事会議事録 (案)

日 時：2023 年 3 月 31 日

場 所：機械振興会館 6 階 6-66、Zoom

出席者：宮永 Chair、原崎 Vice Chair、奥村 Secretary、樋口 Treasurer、小林札幌支部 Chair、山田仙台支部 Chair、湯川信越支部 Chair、相澤東京支部 Chair、佐田東京支部 Vice Chair、Kawamoto 東京支部 WIE Chair、佐藤名古屋支部 Chair、梶川関西支部 Chair、井上関西支部 Vice Chair、丹治四国支部 Chair、増田広島支部 Chair、伊良皆福岡支部 Chair、高村 COC Coordinator、小澤 SAC Coordinator、浅井 AC Coordinator

橋本 Past Chair、重松 Past Secretary、前原 Past Treasurer、白川 History Committee (ad hoc),Chair、廣岡 MD Coordinator、塩見 YP Coordinator、津田 LM Coordinator、大越 Educational Activities Coordinator、井上 WIE Coordinator

福田 IEEE Past President、鈴木 IEEE Industry Engagement Committee Member、稲森 IEEE Student Activities Committee Member、杉江 IEEE Admission and Advancement (A&A) Committee Member、西原 IEEE Region 10 Past Director、杉山 IEEE Fellow Committee Member、大野 JC-SAC past Chair、福田 IEEE Past President、久本 LRSC 理事、Japan Office 梶川氏

【議題】

JC 理事会の実施方法と成立要件、Roberts Rule 説明

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. 前回理事会議事録の確認【審議】 | 資料 (1) |
| 2. 2023 年 Japan Council 理事会構成【審議】 | 資料 (2) |
| 3. 2022 年決算報告・監査報告 | 資料 (3) |
| 4. 2023 年活動計画および 2023 年予算 (報告) | 資料 (4) |
| 5. 2023 年中間会計報告 | 資料 (5) |
| 6. 常設委員会 前回理事会以降の活動報告 | |
| 6-1 Chapter Operations Committee | 資料 (6-1) |
| 6-2 Student Activities Committee | 資料 (6-2) |
| 6-3 Awards Committee | 資料 (6-3) |
| 6-4 Industry Promotion Committee | 資料 (6-4) |
| 7. Ad-Hoc 委員会 前回理事会以降の活動報告 | |
| 7-1 Long Range Strategy Committee | 資料 (7-1) |
| 7-2 History Committee | 資料 (7-2) |
| 7-3 Awards and Recognition Committee | 資料 (7-3) |
| 8. Coordinator 前回理事会以降の活動報告 | |
| 8-1 MD | 資料 (8-1) |

8-2 YP	資料 (8-2)
8-3 LMAG	資料 (8-3)
8-4 EA	資料 (8-4)
8-5 WIE	資料 (8-5)
※急遽発表の順番が変わったが、議題番号と資料番号は資料に準ずる	
10-1 SNS の運営報告と今後の計画と体制について【審議】	資料 (10-1)
9. 各支部 2023 年活動計画および前回理事会以降の活動報告	
9-1 札幌支部	資料 (9-1)
9-2 仙台支部	資料 (9-2)
9-3 信越支部	資料 (9-3)
9-4 東京支部	資料 (9-4)
9-5 名古屋支部	資料 (9-5)
9-6 関西支部	資料 (9-6)
9-7 四国支部	資料 (9-7)
9-8 広島支部	資料 (9-8)
9-9 福岡支部	資料 (9-9)
10. その他	
10-2 R10 Meeting 2023 参加報告	資料 (10-2)
10-3 記念行事情報共有 WG について	資料 (10-3)
10-4 JC での協賛の対応について	資料 (10-4)
10-5 IEEE での謝礼の扱いについて	資料 (10-5)
10-6 Japan Office の状況報告	配布資料無し
[参考] IEEE Japan Council メール審議記録	(参考資料)
[参考] 支部別会員数/支部別 Society 会員数の推移	(参考資料)
[参考] JC/東京支部 事務局から発信処理を行った eNotice 一覧	(参考資料)

宮永 JC Chair の挨拶

宮永 Chair より挨拶が述べられた。

【議事】

0. JC 理事会の実施方法と成立要件、Robert's Rule 説明 資料 (別添 2)
- 橋本 Past Chair より議会を回していくための法則である Robert's Rule についての説明があった。IEEE の Bylaws という規定の中に、IEEE の議会では、Robert's Rule Order に従うことが記載されているなどの説明があった。

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料 (1)

奥村 Secretary より前回の理事会の議事録について説明があり、審議・承認された。

2. 2023 年 Japan Council 理事会構成【審議】 資料 (2)

奥村 Secretary より理事会構成について説明があり、審議・承認された。

3. 2022 年決算報告・監査報告 資料 (3)

前原 Past Treasurer より 2022 年の決算と参加の説明があった。円安により収入が当初の予算比で 120%となったこと、支出はコロナの状況も踏まえて収入より支出を膨らませた計画だったが、計画より少ない形となったこと、最終的には支出超過の決算となり、2021 年に比べて活性化が進んだとの説明があった。

4. 2023 年 活動計画および 2023 年予算(報告) 資料 (4)

奥村 Secretary より活動計画の説明があった。2 回目の JC 理事会が名古屋で予定されていること、R10 関連で3月初めに Annual Meeting があったこと、2023 年は Section Congress がカナダで開催予定であることなどの説明があった。

樋口 Treasurer より 2023 年予算の説明があった。2022 年の決算の部分が変更されているとの説明があった。

5. 2023 年中間会計報告 資料 (5)

樋口 Treasurer より 2023 年中間会計の説明があった。年初のため会計の進捗はないこと、1 ドル 135 円で見積もっていること、予測としては支出超過であること、為替が不安定だが繰越金があるので計画通り予算を消化しながら進めて頂きたいことなどの説明があった。

6. 常設委員会 前回理事会以降の活動報告

Chapter Operations Committee 資料 (6-1)

高村 COC Chair より 2023 年の Meeting 予定などの活動計画、予算の執行状況、Award の登録状況、一部手続きの kintone への移行、COC 業務の Section 移行などについて説明があった。

Student Activities Committee 資料 (6-2)

小澤 SAC Coordinator より年間活動計画、新設する Student Activities Award と Outstanding Student Branch Counselor Award、Student Branch Leadership Training Workshop などについて説明があった。また、JC Manga Project の活動目的、活動状況、今後の方針とスケジュールについても説明があった。

Awards Committee

資料 (6-3)

浅井 AC Coordinator より会合を秋に実施する予定であること、フェロー推薦、Medal、Recognition、Technical Field Awards について支部と連携して推薦の促進を実施すること、委員リストなどについて説明があった。

質疑応答では、奥村 Secretary から、JC からの理事推薦については引継ぎされていないので、調べて後ほど対応するとの説明があった。

Industry Promotion Committee

資料 (6-4)

原崎 IPC Chair より IPC の会合は JC 理事会の 1 ヶ月前に開催すること、2023 年のメンバーリストが縮小したこと、1 回目の会合を開催し議論した内容、今後の具体的な検討項目として企業経営層や企業従業員に IEEE の魅力をどう伝えるかなどを考えていること、IPC が主催で講演会を企画していることなどの説明があった。

7. Ad-Hoc 委員会 前回理事会以降の活動報告

Long Range Strategy Committee

原崎 Vice Chair より JC の Vice Chair が LRSC の Chair を務めることになっていること、年間 3 回の会合を予定していること、2023 年 1 回目の会合を開催し、JC 会員の推移や Section Assessment、若手会員の増員などについて議論したことについて説明があった。

History Committee

白川 HC Chair より HC のミッションは Milestone の発掘と、推薦と認知されたものの Retention であること、これまで日本では最新のもので、2022 年 9 月 26 日に QR コードが受賞したこと、現在数件申請しているが未審査の状態であることの説明があった。

Awards and Recognition Committee

南 Chair の代理で奥村 Secretary から説明があった。Outstanding Volunteer Award の目的、2022 年の募集・表彰結果、2023 年の応募期間を 2~3 ヶ月にすること、Vice Chair や Secretary の人選を南 Chair にお願いしていること、予算が理事会で承認済みであることなどの説明があった。

8. Coordinator 前回理事会以降の活動報告

MD

廣岡 MD Coordinator より 2023 年の活動計画として、各支部 MDC との情報共有、MD 活動の一層の強化、支部間連携の強化について説明があった。また、2 回の MD 会議を対面で行うための予算計上についての説明があった。

YP

塩見 YP Coordinator より東京支部の YP Chair が決まったこと、新企画として IEEE Japan YP study lab 2023 in Nagoya を進めていること、JC 予算から各 Section への旅費を支出予定であること、SYWL2023 のサポートを開始予定であること、新企画 YP Carrier Lab の検討をしていることなどの説明があった。

LMAG

津田 LMAG Coordinator より 2 月初旬に高野前 Coordinator と打ち合わせを実施したこと、今後各 Section の LMAG Chair と連携すること、R10LMAG Chair の Rajendra K. Asthana 氏より連絡があり、福岡 Section での LMAG 設立推進協力依頼を受け取っており、全面的にサポートしたいと考えていることなどの説明があった。

EA

大越 EA Coordinator より 2023 年の活動計画とその趣旨、支部の EA 間で情報共有をしていること、Engineer Spotlight に宮永 JC Chair を講師とした準備を進めていること、予算案、各支部の Chair の交代についての説明があった。

WIE

井上 WIE Coordinator より国内の WIE の連携を支援していくこと、SYWL Workshop への動員支援をすること、マンガプロットコンテストについて協力すること、2022 年の SYWL Workshop との関西のシンポジウムの日がちが重なってしまったことを踏まえて、各 Affinity Group の情報を集め、共有できるよう勧めていることなどの説明があった。

10-1. SNS の運営報告と今後の計画と体制について【審議】

大野 JC-SAC past Chair より SNS の運営体制が 4 月から変わったこと、今後は学生 2 名を選出して運営してもらうことを検討していること、当該学生にはアルバイト料を支給したいこと、全国の IEEE 支部や Affinity Group からの投稿内容を受けることを検討していることなどの説明があり、審議・承認された。

9. 各支部 2023 年活動計画および前回理事会以降の活動報告

9-1 札幌支部

資料 (9-1)

小林札幌支部 Secretary より第 1 回理事会・総会 (2 月 14 日) の開催報告、共催事業である電気・情報関係学会北海道支部連合大会の予定、IEEE Sapporo Section Best Paper Award や IEEE Sapporo Section Student Paper Contest などの表彰の実施、会員数増強に向けた施策、講演会の予定、R10Meeting への現地参加、2023 年の予算と体制について説明

があった。

9-2 仙台支部

資料 (9-2)

山田仙台支部 Chair より年次総会を4月17日に開催予定とのこと、2名が Fellow に昇格したこと、25周年記念事業として記念シンポジウム、記念誌の発行、電気関係学会東北支部連合大会(8月開催)における記念講演会を予定していること、新 Fellow 記念講演会や特別講演会、LMAG による講演会などの各講演会、役員の改選、収支計画などについて説明があった。

質疑応答では、周年記念イベントの実施の JC の積立金があるが、それが資料内にある「Section 支援費」に相当するかの質問があり、山田仙台支部 Chair が確認して回答するとの回答があった。

9-3 信越支部

資料 (9-3)

湯川信越支部 Chair より Student Branch Poster Session の Award、WIE の東京・信越ジョイントでの Red Carpet Ceremony の開催、信越支部は講演会・講習会等は他の学会の大会とジョイントで開催していること、MAW の企画としては「航空宇宙産業における産学連携」で信州大学に開設された、航空宇宙システム研究拠点が中心になって、秋田大学電動化システム共同研究センターとジョイントして開催することなどの説明があった。

9-4 東京支部

資料 (9-4)

相澤東京支部 Chair より3月17日に理事会、LMAG 総会、東京支部総会を開催したこと、東京支部総会の後に、2021年に IEEE Andrew S. Grove Award を受賞した鬼頭氏による講演会を開催したこと、WIE が3月8日に国際女性デーイベントを開催したこと、9名が Fellow に、36名が Senior Member に昇格者したこと、人数が少しずつ減っているので会員増加が課題であることなどの説明があった。

9-5 名古屋支部

資料 (9-5)

佐藤名古屋支部 Chair より昨年12月に総会・役員会と若手奨励賞受賞者の長谷川先生の講演会を開催したこと、R10Meeting に参加したこと、名古屋支部が推薦した学生が JC Student Activities Award を受賞したこと、名古屋支部による各種表彰、Toyota PURIUS の IEEE Milestone を申請したこと、2023年の活動計画のメインは25周年記念事業であること、第2回 JC 理事会を名古屋で開催する予定であることなどの説明があった。

9-6 関西支部

資料 (9-6)

梶川関西支部 Chair より2023年の理事会の開催状況や今後の開催予定、関西支部の総会を

開催し、支部の活動報告・計画、各 Committee、Affinity Group、各 Chapter の報告・活動計画について全て承認されたこと、各種授賞式（YP 賞、学生研究奨励賞、新 Senior Member メダル）を実施したこと、技術講演会の予定、25 周年記念イベントの準備状況について、2022 年の決算収支と 2023 年の予算計画などの説明があった。

9-7 四国支部

資料 (9-7)

丹治四国支部 Chair より 1 月 25 日に役員会を開催したこと、25 周年に関しては、昨年度 MAW を開催したこともあり、30 周年の開催の提案を了承頂いたこと、支部の 25 年間の軌跡を支部の会員に情報発信することについて検討中であること、他学会のランチとの交流など、これまでの活動を継続していくこと、R10Meeting にオンライン参加したこと、一部予算を 2023 年に持ち越すことなどの説明があった。

9-8 広島支部

資料 (9-8)

増田広島支部 Chair より 1 月に総会を実施し 2022 年功労賞を贈呈したこと、Senior Member 昇格者は 3 名であること、II 事業案の特別講演会では、元支部長で、功労賞も授与された中西先生に講演頂いたこと、2023 年度の講演会の予定、広島支部独特のものである HISS（学生シンポジウム）が第 25 回となり、開催幹事は島根大学であること、25 周年記念イベントは 2 日間での開催予定であることと 25 周年記念の予算などの説明があった。

9-9 福岡支部

資料 (9-9)

伊良皆福岡支部 Chair より理事会を 2 月に開催したこと、LMAG 誘致、25 周年記念イベント、Milestone について引継ぎを実施し、新しい役員で検討したこと、可能であれば今年中に LMAG を設立したいこと、9 月開催予定の連合大会にからめて 25 周年記念行事を実施することを決めたこと、九州大学に Student Brunch がないが、学生に話を聞いた結果、中心メンバーが卒業すると自然消滅してしまうこと、スーダンからの留学生から Student Brunch をぜひやりたいと申し出があったことなどの説明があった。

質疑応答では、伊良皆福岡支部 Chair が LMAG の設立の中心になってくれる候補者の情報提供を求めたところ、津田 LMAG Coordinator が高野 Past LMAG Coordinator に協力依頼をするとの回答があった。また、元三菱電機で Fellow の原口氏に関する情報提供があり、伊良皆福岡支部 Chair が連絡するとの回答があった。

10-2 R10 Meeting 2023 参加報告

奥村 Secretary より R10 Meeting 2023 の参加報告があった。R10 が R10 と R11 に分割されること、Section Congress が 6 年ぶりに現地で開催されること、日本の各支部が表彰されたこと、President からは気候変動への貢献を強調していたこと、次期 Chair からの所信表

明で若手会員の増加、産業界との連携が強調されていたこと、SYWL の日本開催に向けて動いていることなどについて説明があった。

10-3 記念行事情報共有 WG について

資料 (10-3)

奥村 Secretary より情報共有の場を作ったこと、各支部が記念行事を単独で開催するために準備を進めていることについて説明があった。

10-4 JC での協賛の対応について

資料 (10-4)

奥村 Secretary より 2021 年以降は外部組織からの依頼を受けることになったことについて説明があった。

10-5 IEEE での謝礼の扱いについて

資料 (10-5)

奥村 Secretary より基本的に IEEE 会員には謝礼を支払わないこと、謝礼の代わりに記念品 100 ドル以下のものに対応することについて説明があった。

質疑応答では、現在の Admission Fee の状況についての質問があり、奥村 Secretary が確認するとの回答があった。

10-6 Japan Office の状況報告

橋本 Past Chair より IEEE Japan Office の Director の募集に関する説明があった。

IEEE Japan Council メール審議記録

(参考資料)

加藤事務局員より資料は前回の理事会後にメール審議があった件の記録との説明があった。

支部別会員数/支部別 Society 会員数の推移

(参考資料)

奥村 Secretary より支部全体の会員数は増えている、各 Society では増減しているなどの説明があった。

JC/東京支部 事務局から発信処理を行った eNotice 一覧

奥村 Secretary より eNotice 一覧の説明があった。

<上記以外で追加事項・意見・提案等>

その他、学生会員が社会人になった際の会費が大幅に高くなることについて本部でも対策を検討中であること、学生会員の母集団形成について、他の学会と連携した Fellow の増員についてなどの議論があった。